

2014年7月24日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

代表取締役の異動及び新経営体制のお知らせ

～取締役副社長執行役員の平野敦彦が代表取締役社長に～

ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：玉井裕人、本社：東京都港区台場二丁目3番2号、以下：ソーラーフロンティア）<http://www.solar-frontier.com/jpn/>は、本日開催の取締役会におきまして、7月31付の新経営体制（予定）を決定しましたのでお知らせいたします。今後、株主総会を経て正式に決定致します。

1、新経営体制の目的

当社は、CIS 薄膜太陽電池の技術開発とソリューション提供を通して、マーケットリーダーになることを目指して成長してきました。2013年には、太陽電池国内生産量N01・通期決算での黒字化を果たしました。一方で、世界最先端の新技术を導入する東北工場（第4工場）の建設を進めると同時に、近い将来には海外市場への進出を志向しており、スタートアップ期から成長ステージへの移行期を迎えています。こうした環境の中、現社長の玉井裕人（会長に就任予定）と新社長の平野敦彦を軸に、グローバル・ビジネスに知見をもつ外部人材を新たに登用することで、よりスピーディなグローバル展開を加速させていきます。

2、新経営体制（2014年7月31日付を予定）

	現	新
玉井 裕人	代表取締役社長	取締役会長
平野 敦彦	取締役 副社長執行役員	代表取締役社長（CEO）
栗谷川 悟	取締役 専務執行役員	取締役 副社長執行役員
伊藤 智明	取締役 専務執行役員	取締役 副社長執行役員
ジュディ・リー （新任）	（Dragonfly LLC（経営コンサルタントファーム）の共同設立者）	取締役（CEO 補佐）

- 現社長の玉井裕人は、取締役会長として弊社の経営全体に参画する一方、昭和シェル石油では、これまでのエネルギーソリューション事業COOの任に加えて、石油・電力・ソーラービジネスから構成されるグループ全体の戦略推進を担当します。

以上

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場(公称生産能力900メガワット)は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あたりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPvM 認証(JIS Q 8901)」などの第3者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:
ソーラーフロンティア株式会社 広報部
中田・吉田 TEL: 03-5531-5792